

【講習No.2】

講習名	『生コンクリートの品質管理について』		
講師名	ふじつか いちろう 藤塚 一郎	所属	なし
講師略歴	<p>経歴 昭和53年(1978年)新潟県土木部技師採用</p> <p>令和3年3月 新潟県退職(再任用の5年を含む) ムラタ興業(株)入社</p> <p>令和6年3月 (株)北陸ムラタ(旧 ムラタ興業(株))退社</p> <p>資格 なし</p>		
講習実績	<p>実績 R3年度 4回 (流域下水、上越東、新潟港湾、長岡・与板・小千谷)・・・新潟県機関</p> <p>R4年度 7回 (糸魚川、上越、三条、新潟、柏崎、南魚沼、魚沼)・・・新潟県機関</p> <p>R5年度 2回 (村上、新発田)・・・新潟県機関</p> <p>〃〃 6回 (新津、津川、三条建設業協会、佐渡、長岡、十日町)</p> <p>・・・新潟県機関と建設業協会の合同開催でCPDS対象</p>		
講習概要	<p>○ 生コンクリートの品質管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修目的 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県内のコンクリート構造物の品質向上 ・コンクリートの品質管理は、具体的にどのようなことなのかを理解する ・よいコンクリートとはどのようなものかを判断ができる技術者育成 ● 研修対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・発注者 現場経験が少ない監督員 ・受注者 コンクリートの品質管理資料作成者 ● 研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>呼び強度と配合強度の関係を理解する</u> ・新潟県土木工事標準仕様書の記載事項を再確認する ・品質管理図表で表現すべき事柄は何か？ ・竣工図書で、何故そのような表現が必要なのかを再確認する ・コンクリートの品質への、製造者、施工者、発注者それぞれの責任と役割(・ひびわれについて) ● その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学校では学ばない、現場で役立つ実学としてのコンクリートの品質について ・鉄筋コンクリートが成立する理由 ・施工管理ではなく、あくまでも「品質管理」が主題 		
連絡先	<p>(所属先TEL)</p> <p>(携帯電話) 090-5768-9996</p> <p>(E-mail)★ ※アドレス取得次第掲載します。</p>		
備考			